

根来山げんきの森だより 160号

根来山げんきの森倶楽部
<http://genkinomori.jp/>

活動日：平成30年11月18日 天気：晴れ 参加：倶楽部員31人 和生23名

【もみじ谷補修】

今年九月の台風により約2か月にかけてもみじ谷の作業は中断していました。

今日は、和歌山大学のボランティアの学生4名、引率の先生2名と山のメンバー3名で前回に残した石垣を2～3段積んで、その上に枕木を置いて道を完成させる予定です。

まずは3名で間知石をテラーに一杯載せて現場まで運搬しました。残りのメンバーは現場近くに山積みしている石交じりの残土を1輪車にのせて2～3人で坂を引っ張り上げます。この作業がめっぽうきつくて大変でした。

いよいよ重い石を面を見ながら積んでいきます。石垣の裏側にしっかりと土を入れ固めます。午前中で2段ほど積むことが出来ました。

午後はいよいよ仕上げの段階です。

残った石を慎重に積みその上に4人がかりで枕木を並べ、さらに土を固め、ようやく復旧作業は完成しました。

最後に、古い横木、残った杭、余った枕木等を全員で片付け作業終了です。

皆さん本当にお疲れ様でした。

【炭焼き】

今日は、当初7日から焼いた炭を出すのも考えてましたが、未だ台風の被害の炭材や薪用の材が、遊歩道上に沢山あるのと、炭窯の周りにこれもまた溢れるほどある炭材と薪用の材の整理を早く処理しないと・・・との考えで、和歌山大学の若い力を借りて処理に専念しました。

げんきの森スタッフ6名と和歌山大学の精鋭6名が参加してくれまして薪割りは大分片つきましたが、まだまだ残っています。遊歩道の材は、ふれあいの森のタヌキの尻尾への分かれ道ある材を5回搬送しましたが、未だ完全には片付いてません。残りの材は山の肥料に・・・？

帰りがけには、別行動隊からバリヤフリー遊歩道沿いに炭材を置いてるから早めに処理をと・・・云われ・・・。腰の痛みが増しました。

今日は、和歌山大学の助っ人に大いに助けられました。感謝！感謝！です。

カタバミ（カタバミ科）

日だまりの中で黄色い5枚の花びらを広げ、きれいな花を咲かせます。葉は緑のハートが3枚くっつき、クローバーのような葉を広げます。

厳しい環境に耐える力が強いので、空き地など都市環境にも適応し、あちこちで目にする植物なので、みなさんもよくご存知でしょう。でも、なぜか森の中には入ってきません。こうした傾向は海外から入ってきた帰化植物によく見られるので、カタバミも古い時代に海外から入ってきたのかもしれない。でも、どこからかはわかりません。なぜなら、カタバミは世界中で見られる植物だからなのです。

葉が茶色っぽくなる系統もたくさんありますが、これも同じカタバミです。漢字で書くと「片食み」です。酸っぱくて食用には向かないのでこんな字を当てたのでしょうか。繁殖力の強い植物なので、武士たちはよく家紋に使ったようです。

今は花も終わりの季節で、1cm少しの小さなオクラをひっくり返したような形の実がたくさんなっています。緑が少し抜けた実の指先や細い木の枝でそっと触れてみると、中のタネが飛び散ります。動物や水の力を借りずに自分の力でタネをまくタイプの植物なのです。面白いので見つけたらぜひ触ってみてください。

それから、葉の酸味はシュウ酸という酸をたくさん含むためののですが、この酸は銅のさびを落としてくれます。ですから、10円玉をこの葉で磨くとピカピカになります。これも面白いのでお勧めです。

カタバミはバリアフリートレイル起点付近でよく見られます。



活動日作業日誌：平成 30 年 11 月 18 日

【野鳥巣箱取り付け】

本日の作業は、昨年取り付けていた巣箱を補修、清掃して再びそれぞれの場所に取り付ける作業です。

今日は和歌山大学の学生のみなさんが多数ボランティアで応援に来ていただき、その内 4 名（男性 1 名、女性 3 名）が手伝ってくれ、倶楽部員 3 名の合計 7 名での作業です。取り付け場所は、毎年巣立ち率 100% の管理棟、工房他の軒下に 5 個、東展望のログハウスの軒に 1 個です。人通りのある構築物は野鳥にとって安心して子育てができるので人気があるようです。

その他に第 2 駐車場までに閑車道沿いに 9 個、わんぱくの森の尾根筋に 4 個を設置し、一つの巣箱にオオルリとシジュウカラの 2 種が営巣した沢小屋西側の軒下に 1 個を設置し、全部で 20 個を取り付けました。

作業当日は好天に恵まれ、若い学生たちとの作業も楽しく若返ることができた一日でした。

ありがとうございました。

「おめでたいお話し」

いきなり問題です。「年の瀬や、正月によく目にするシダ（羊歯）」と言えばなんでしょう。

そうウラジロですね。でも、ウラジロはご存じでも、それが「シダ植物」の仲間だとは知らなかった、という方もいらっしゃるかもしれません。

花をつけ実をむすぶ木や草と違い、胞子で繁殖するシダはなじみが薄いと言えるかもしれません。「シダ植物」でよく知られているものと言えば、ツクシ（スギナ）、ワラビ、ゼンマイ、コゴミ（クサソテツ）といった食べられるものがほとんどでしょう。

一般的にはなじみの薄い「シダ植物」が正月の注連飾りや鏡餅に使われるのはどうしてでしょう。どうもこのウラジロが持つ特性が「おめでたい」と解釈されたことによるようなのです。

そのお話をします。まず特性を見ていきましょう。

- ①葉の裏に蠟がたまり、ほかのシダに比べて白い。（これが名前の由来）
- ②毎年初夏に、上端に一对の「葉」をつける。
- ③一对の「葉」の間に翌年開く「休止芽」をつけている。
- ④新しい葉が開いても、昨年までの葉が緑のまま残り（和歌山では、3～4年）、毎年背が伸びる（和歌山では 1m 以上、ちなみに沖縄では 2m 以上に）。これらの「特性」から、○心の潔白さ。○夫婦仲睦まじく、共白髪に。○子孫代々続いていくように。という願いを込めて正月飾りに用いられるようになったようです。

げんきの森では、バリアフリーストレイルなど、日当たりのよい斜面に群落が見られます。



根来山げんきの森倶楽部の活動と催し

- 12 月 1 日（土）13:00～ 自然観察会
17:00～ 運営会
3 日（月）13:00～ 恵み体験（鳴滝小）
6 日（木）9:00～ "（有功小）
7 日（金）9:00～ "（名草小）
12 日（水）9:00～ 炭焼き
9:30～ 里地調査（植物）
15 日（土）9:30～ 近大貸山
16 日（日）9:30～ 定例活動
22 日（土）9:30～ 竹細工同好会
27 日（木）9:00～ 大掃除
28 日（金）～ 1/3 日（金） 休園
- 1 月 4 日（金）9:00～ 自主開園（～ 16:00）
5 日（土）13:00～ 自然観察会
16:00～ 運営会
20 日（日）9:30～ 定例活動
25 日（金）9:00～ 恵み体験（伏虎義務教育）
26 日（土）9:30～ 竹細工同好会

それぞれの活動のお問い合わせ、申込みは事務局または管理棟（Tel&FAX 0736-61-7233）まで。火曜定休日
事務局 E-mail：forest-o@ares.eonet.ne.jp

根来山げんきの森
12 月・1 月の催し

昆虫調査隊員募集中：基本的に子どもを中心に、その保護者と活動しています。活動日は毎月第 2 日曜日。昆虫の好きな方は参加してみてください。

倶楽部員募集中：私たちと一緒に、森林公園の整備やいろいろな活動をする仲間を求めています。いつからでも入会できます。

1/5（土）自然観察会

12 月上旬には、記録的な暖かい日もありましたが、やっと冬らしい季節になってきたようです。

新年の森を倶楽部員と一緒に歩いてみませんか？

日時：1 月 5 日（土）13:00～15:00

参加費：200 円（小学生以上）

申し込み：当日でも結構です。管理棟へ。

ふれあいの森プレーパーク

1/6・2/4（お休み）

プレーパークは例年通り、1 月・2 月はお休みします。3 月からの活動をお楽しみに！